

令和5年度横浜市普通会計決算の概要

※各項目で四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

1 歳入

1兆9,854億円

(対前年度△1,226億円)

《主な要因》

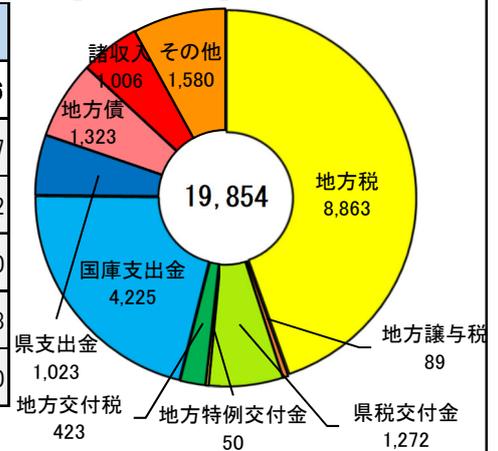
- ・ 経済局過年度貸付金元利収入の減少等による諸収入の減 (△737億円)
- ・ 住民税非課税世帯に対する給付金の支給終了に伴う住民税非課税世帯臨時特別給付事業費補助金の皆減等による国庫補助金の減 (△432億円)

【対前年度比較】(単位:億円)

区分	R5年度	R4年度	増減
歳入総額	19,854	21,080	△1,226
諸収入	1,006	1,742	△737
国庫支出金	4,225	4,657	△432
財産収入	133	433	△300
地方債	1,323	1,421	△98
地方税	8,863	8,673	190

※上記は対前年度増減額上位5項目を表示

【歳入の状況】(単位:億円)



2 歳出

1兆9,579億円

(対前年度△1,150億円)

《主な要因》

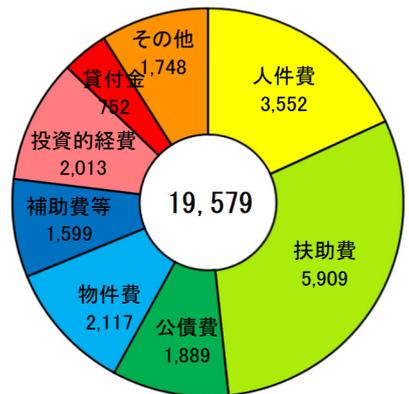
- ・ 新型コロナ対策で増大していた中小企業向け制度融資の預託金の減等に伴う貸付金の減 (△723億円)
- ・ 新型コロナウイルスワクチンの接種件数が減少したこと等に伴う物件費の減 (△285億円)

【対前年度比較】(単位:億円)

区分	R5年度	R4年度	増減
歳出総額	19,579	20,729	△1,150
貸付金	752	1,475	△723
公債費	1,889	2,189	△300
物件費	2,117	2,403	△285
人件費	3,552	3,644	△93
扶助費	5,909	5,685	224

※上記は対前年度増減額上位5項目を表示

【歳出の状況】(単位:億円)



3 その他 (経常収支比率、地方債現在高、基金積立金現在高)

(1) 経常収支比率

98.1% (+0.2ポイント)

【前年度比較】(単位:%)

区分	R5年度	R4年度	増減
経常収支比率	98.1	97.9	0.2

(過年度(参考) R3: 95.1 R2: 100.5)

(2) 地方債現在高

2兆2,995億円 (△311億円)

【前年度比較】(単位:億円)

区分	R5年度	R4年度	増減
地方債現在高(臨財債含む)	22,995	23,306	△311

(3) 基金積立金現在高

714億円 (+216億円)

うち財政調整基金 516億円* (+202億円)
 ※年度間調整分(170億円)や翌年度以降の活用のために、一時的に積み立てている金額(道路局財産収入: 23億円)を含んだ残高。

【前年度比較】(単位:億円)

区分	R5年度	R4年度	増減
基金積立金現在高	714	498	216
うち財政調整基金現在高	516	314	202